平成３０年６月６日

第１回学校評議員会　議事録

１　日　時　平成３０年６月５日（火）１８：３０～１９：３０

２　会　場　鵜川高等学校進路会議室

３　出席者　評議員：木澤様、工藤様、成田様、森様、両川様
学校側：山﨑校長、亀井教頭、片岡事務長、
堺企画総務部長、村田教務部長、石田生徒指導部長、
武内進路指導部長

４　内　容
（１）委嘱状交付
（２）校長挨拶
（３）自己紹介
（４）学校経営方針説明（校長）
（５）学校概況説明（教頭）
（６）平成２９年度学校評価（教頭）
（７）各分掌等の取組説明（分掌部長）
（８）質疑応答・意見交換

評議員：前年度の反省を踏まえた取組となっているのでよい。積極的に町など外部へ情報発信を行い、長く学校を存続させてほしい。
学校側：学校ＨＰの更新頻度を多くしたり、ｆａｃｅｂｏｏｋなどのＳＮＳも効果的に活用して情報発信に努めたい。
評議員：企業など外部との連携は大切である。近年の子どものコミュニケーション能力不足がいろいろなところで言われている。ＣＳＴの取組はよい。
学校側：「心の教育」の体系化などに取り組んでいる。ＣＳＴなどを活用して生徒の自己肯定感を高めていきたい。
評議員：小さな学校なので、生徒一人一人を細かく見ることができるのは大きな学校にない良さではないか。「むかわ学」や「チャレンジスタディ」を生徒達はどう思っているのか検証していくことも必要ではないか。
学校側：「チャンレジスタディ」では、今年度、学び直しだけでなく、外部の方から講話をいただくなど積極的に進路学習にも取り組んでいる。
評議員：部活動の生徒は学習と部活動の両立ができているか？
学校側：両立できるよう、部でも指導している。
評議員：取組が多岐にわたり、先生方の負担も大きいかもしれない。先生方の生徒と接する時間が不足することが心配である。「心の教育」はよい。生徒の頑張った経過を見ることは大切だと思う。
学校側：皆様の貴重な御意見を参考にさせていただきながら、教育活動を展開していきます。

（９）次回学校評議員会について（１０月２６日を予定）
（10）校長挨拶